

大阪府医療対策協議会 議事録

日時：平成29年3月30日（木曜日）16時00分から17時30分

場所：大阪赤十字会館3階302・303会議室

【議事概要】

◆会長の選出について

○中尾委員を会長とすることで一同了承。

◆臨床研修医の募集定員について（資料1）

○臨床研修医の募集定員の最終配分調整に係る評価項目について議論した結果、

- ・公平性の観点から、最終配分調整において、調査項目の評価が同一順位の場合のみ、連続で同一医療機関に増員しない。
- ・公平・公正な判断を担保する為、最終配分調整における資料に医療機関名を記載しない。

の2案を評価項目に追加するとの意見で一同了承。

○その他の意見

- ・増員を希望する病院に平等に配分すべき。
- ・医師数が府内の平均を下回る2次医療圏内で良い研修が出来る病院に優先配置を検討すべき。
- ・厚生労働省の配分で、ある程度全域に配置されているので、最終配分については医師が不足している2次医療圏に配置すべき。
- ・良い医師を育てる為の研修医制度であるという基本認識は守るべき。その上で、偏在解消について議論をすべき。
- ・患者の立場からは良い医者を育てて欲しいと思うので、一定のレベルを満たした病院の中で調整することが大事である。

◆報告事項について（資料2，3，4）

○地域医療確保修学資金等貸与事業について、対象に所得制限を設けるべき。

○専門医制度によって基礎医学に行かなくなる。既に基礎医学など、臨床以外へ進む医師が減っている。臨床も大事だが、将来の医療を築く基礎医学が欠けてはならない。国に対し、配慮を要請すべき。

○専門医制度は、良い医師を育てていくという考えのもと、行政と切り離してスタートされたはずなのに、いつの間にか、医師の強制配置に使おうとしている。

○専門医制度が地域医療に影響が出ないか、心配している。